



2020年度
北海道大学
科学技術コミュニケーター養成プログラム
CoSTEP

受講説明会

2020.04.04 13:00-15:30

次へ



本日のながれ

- スタッフ紹介
- CoSTEPについての説明
 - ・ CoSTEPのミッションと人材育成方針
 - ・ カリキュラム概要
 - ・ 開講コース（本科/選科A・B）
 - ・ 受講に際しての注意事項
- 質疑応答

次へ



本日のながれ

- 資料確認
 - 募集要項 (pdf)
 - 2020 CoSTEP 講義一覧 (pdf)
 - 説明pptの一覧 (pdf)

次へ



CoSTEPの概要

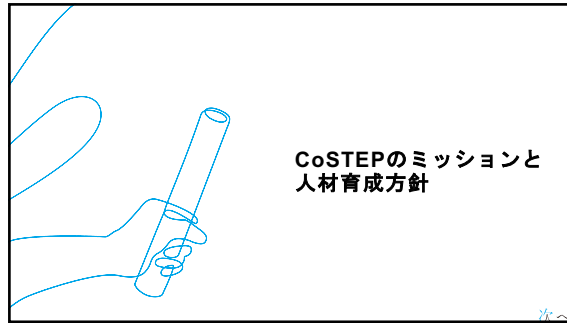
次へ



CoSTEP スタッフの紹介

次へ

 <p>川本 思心 部門長 / 理学研究科 基盤課 (基幹) 理学部理系士と大学院生による共同研究、 デジタルユース、研究における国際化</p>	 <p>朴 炫真 特別講師 ナビゲーター、指導、 国際交流</p>	 <p>原 健一 特別講師 フラウド研究 (工学博士)、 理学と科学の融合による基礎的研究、 心の科学、知能の科学、認知科学、メタ科学</p>
 <p>奥本 素子 運営課 オンライン・オンキャンパス、対面型 混合型授業</p>	 <p>池田 貴子 特別講師 特別指導員、指導、プログラムデザイン、 リスクコミュニケーション</p>	 <p>梶井 宏樹 特別講師 工学、基礎研究、ITへの応用、 市民と研究者の対話による共同</p>
 <p>種村 剛 特別講師 学長特別顧問、国際化推進プログラム</p>	 <p>西尾 直樹 特別講師 副学長、ソーシャルイノベーション、 産学連携とプロモーション</p>	 <p>川口 佳代 特別講師 特別指導員</p>
 <p>早岡 英介 特別講師 健康メディア、リスクコミュニケーション</p>	 <p>内村 直之 特別講師 基幹研究部長 (特に生命科学、人間文化、分 子生物学、薬学) 特別指導員、 特別指導員、指導、産学連携による共同研究、と創 業支援の推進</p>	 <p>村中 令 特別講師 特別指導員</p>



CoSTEPのミッション

- 科学技術コミュニケーター人材の輩出
- 多様な科学技術コミュニケーション実践
- 人材育成手法の研究開発



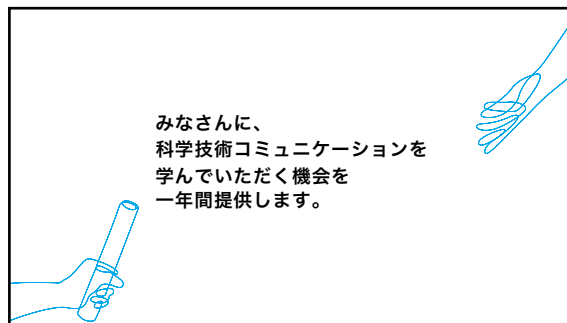
科学と社会の双方向的で、よりよい関係の実現

人材養成の基本的な考え方

- 双方向的なコミュニケーション
- 地域に根ざした科学技術コミュニケーション
 - ・ 中央と地方との双方向性
 - ・ 地域の人々と連携し、地域のリソースを活用
- 実践を通して学ぶ
 - ・ 学ぶ場を創り出す
 - ・ 科学技術コミュニケーションの有効性を知ってもらう



「役割」としての科学技術コミュニケーター
研究室や職場、地域コミュニティなどで、
科学技術コミュニケーション活動を主体的に行なう人

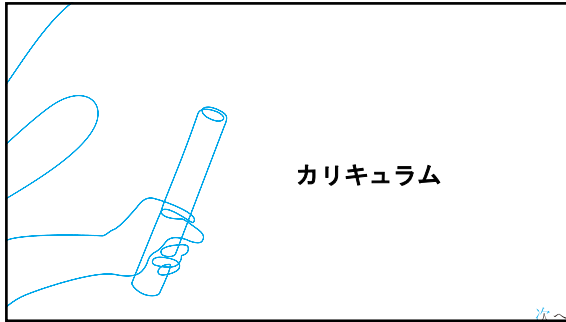


こんな人を育てたい

- 社会の中で主体的かつ継続的に
科学技術コミュニケーション活動を企画し、実施する。
- 自分の研究や仕事・生活の様々な局面で
「科学技術コミュニケーションのセンス」を発揮する。

受講生の皆さんに期待すること

- 科学技術コミュニケーションには、「教科書的な答え」はない。
実践に参加するための特別な「資格」があるわけではない。
- 受講生一人一人の持つ多様な経験、知識、モチベーションを
新しい方法で「結びつけること」「組み合わせること」が重要。
誰にでもその人固有の、大切な役割がある。
- 受講生の学びと実践とネットワークの構築によって、
私たちと一緒に、たえず新しい科学技術コミュニケーションを
「創造」して行ってほしい。

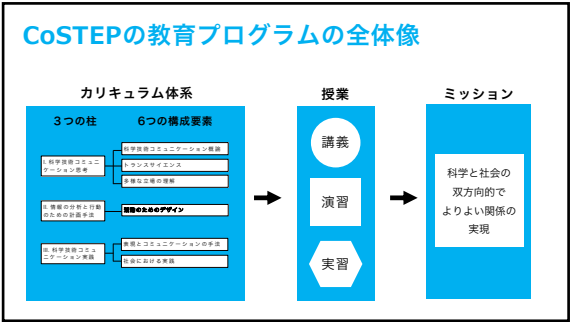


CoSTEPの教育プログラム カリキュラム体系の「3つの柱」

I. 科学技術コミュニケーション思考
科学技術コミュニケーションの全体像を把握し、コミュニケーターとして実践にとりくむ際の課題の設定や判断の基準となる考え方を身につける。

II. 情報の分析と行動のための計画手法
科学技術と社会に関する情報を収集・分析・評価し、意思決定・合意形成・戦略立案を行うための基本的な考え方を学ぶ。

III. 科学技術コミュニケーション実践
コミュニケーターが様々な実践を通して社会で役割を果たすために必要となる、基本的な知識とスキルを学ぶ。



受講ニーズに応じた2コース

本科 講義 → 演習 → 実習

科学技術コミュニケーションを社会で積極的に担うための総合的な力を身につける。

募集人員：20～30名

選科 講義 → 集中演習

科学技術コミュニケーションの基本的な考え方とスキルを学ぶ。

募集人員：30～50名

本科

目的
科学技術コミュニケーションを社会で積極的に担うための総合的な力を身につける。

募集人員
20～30名

講義 → 演習 → 実習

科目構成 本科

種別	授業	授業数	履修制限
講義	カリキュラム体系に沿った必修のモジュール	27回	履修として *履修日: 13:00-14:30 (集中) *科目番号: e-learning#12 課まで *科目番号: 517 (他)
本科 実習	対話の場の創造実習 ライティング・編集実習 ソーシャルデザイン実習 アートデザイン実習	26回	履修として *履修日: 10:00-12:00 *科目番号: 503 (他) *科目に応じて実習時間外の作業あり *科目番号から1つ選択
本科 実習	インタビュー実習 ウェブサイト実習 グラフィックデザイン実習 Ⅰ ファンクショナル実習 プレゼンテーションスキル実習 データ収集と実習 ディベート実習 面接実習Ⅰ プロジェクト作成実習	9科目	履修として *履修日: 18:20-20:00 (集中) *科目番号: 520 (他) *実習での実習前に実習する機会もある
共通 実習	国際実習 Ⅰ		他の履修実習と選択する機会もある

*社人数割増が主な科目
*スケジュールは原則

講義 必修科目

土曜日 13:00-14:30
もしくは
水曜日 18:30-20:00

モジュール名	履修日	回數
1 科学技術コミュニケーション論	5/17, 5/23, 5/30, 6/17, 6/27	5
2 新聞とコミュニケーションの手法	7/4, 7/8, 7/11, 7/18, 8/1	5
3 知識のためのデザイン	9/12, 9/16, 9/26, 10/3, e-learning	5
4 トランスサイエンス	9/23, 10/24, 11/7, e-learning	4
5 多様な立場の理解	11/28, 12/16, e-learning	3
6 社会に生きる判断	12/12, 1/8, 1/23, 1/30, 2/2	5
合計		27

※講義履修日は履修の都合により、変更の可能性がございます。
教職員の方へはメールサポート（担当）まで、

講義 必修科目 多様なゲスト講師陣

片岡 隆夫 名城大学 CoSTEP 専任/元NHK報道局長	三村 隆 早稲田	平野 隆 名城大学 教授
高橋 洋子 名城大学 CoSTEP 専任	田中 裕子 名城大学 教授	佐藤 誠 名城大学 教授
田中 裕子 名城大学 CoSTEP 専任	藤田 誠 名城大学 教授	江崎 誠 名城大学 教授
松岡 洋子 名城大学 CoSTEP 専任	小川 誠 名城大学 教授	石川 誠 名城大学 教授
田中 裕子 名城大学 CoSTEP 専任	山本 誠 名城大学 教授	山本 誠 名城大学 教授
松岡 洋子 名城大学 CoSTEP 専任	佐藤 誠 名城大学 教授	佐藤 誠 名城大学 教授
松岡 洋子 名城大学 CoSTEP 専任	佐藤 誠 名城大学 教授	佐藤 誠 名城大学 教授
松岡 洋子 名城大学 CoSTEP 専任	佐藤 誠 名城大学 教授	佐藤 誠 名城大学 教授

*e-learning で受講
※各講義のシラバスはウェブサイト参照。

実習の 紹介

種別	授業	授業数	履修制限
講義	カリキュラム体系に沿った必修のモジュール	27回	履修として *履修日: 13:00-14:30 (集中) *科目番号: e-learning#12 課まで *科目番号: 517 (他)
本科 実習	対話の場の創造実習 ライティング・編集実習 ソーシャルデザイン実習 アートデザイン実習	26回	履修として *履修日: 10:00-12:00 *科目番号: 503 (他) *科目に応じて実習時間外の作業あり *科目番号から1つ選択
本科 実習	インタビュー実習 ウェブサイト実習 グラフィックデザイン実習 Ⅰ ファンクショナル実習 プレゼンテーションスキル実習 データ収集と実習 ディベート実習 面接実習Ⅰ プロジェクト作成実習	9科目	履修として *履修日: 18:20-20:00 (集中) *科目番号: 520 (他) *実習での実習前に実習する機会もある
共通 実習	国際実習 Ⅰ		他の履修実習と選択する機会もある

*スケジュールは原則

対話の場の創造実習

担当 | 梶川亜由美・榎野

対話の場の創造実習とは

- ・サイエンス・カフェ札幌を2回、全く異なるスタイルの対話型イベントを2回実施
- ・対話型イベントの企画、準備、運営、評価を学ぶ
- ・チームビルディング、リーダーシップ、ファシリテーション、プロジェクトマネジメントを学ぶ

今年度実施予定の対話の場

2020年
 9月13日(日) : 第113回サイエンス・カフェ札幌 企画・運営
 10月4日(日) : 第114回サイエンス・カフェ札幌 企画・運営

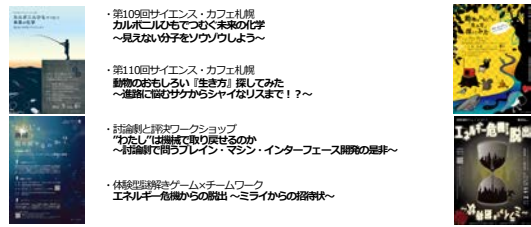
2021年
 1月30日(日) : 討論劇と評決ワークショップ
 1・2月予定 : サイエンスイベント

担当教員：梶井宏樹と種村剛




昨年度実施した対話型イベント

- 第109回サイエンス・カフェ札幌
カルボニルひもでつむぐ未来の化学
～見えない分子をソウソウしよう～
- 第110回サイエンス・カフェ札幌
動物のおもしろい『生き方』探してみた
～進路に悩むサケからシャイナリスまで! ?～
- 討論劇と評決ワークショップ
“わたし”は機械で取り戻せるのか
～討論劇で問うブレイン・マシン・インターフェース開発の是非～
- 体験型討論ゲーム×チームワーク
エネルギー危機からの脱出～ミライからの招待状～



**カルボニルひもでつむぐ未来の化学
～見えない分子をソウソウしよう～**

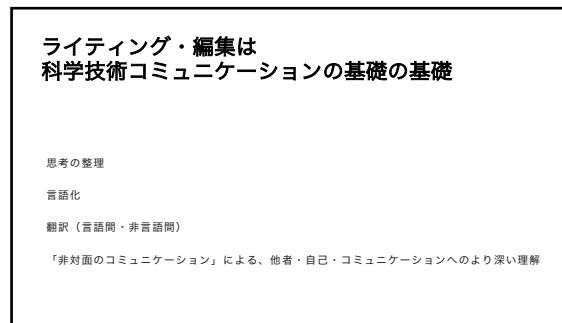
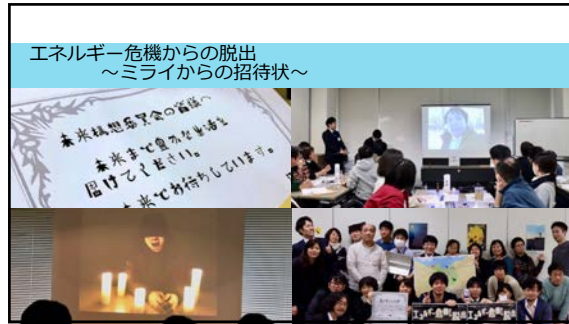


**動物のおもしろい『生き方』探してみた
～進路に悩むサケからシャイナリスまで! ?～**



**“わたし”は機械で取り戻せるのか
～討論劇で問うブレイン・マシン・インターフェース開発の是非～**






実習の概要

サイエンスライティングの基礎スキルと姿勢を学ぶ

テキストメディアを用いて学術研究・教育等を掘り下げ、発信

- ・親しみやすく魅力的に発信
- ・課題を見出す・社会に示す
- ・北海道大学をフィールドとして

行く・読む・見る・聞く・話す・想像する・書く・統合する



実習の目標

- ・アイデアを形にするための企画・取材・執筆・編集の基本を身につけ、実践できるようになる
- ・取材先、共同制作者・協力者、読者など、さまざまな立場の人とのコミュニケーションできるようになる
- ・学び続け、書き続けられるマインドとネットワークを得る

今年度の制作物 (予定)

- 「科学技術」の本の書評
- 『いいね! Hokudai』リーチ数3000~3万
- ・繰り返し書き、スキルアップしていく
- ・北大祭・研究室・学外へ

その他積極的に企画し制作 (過去例)

- ・『いいね! Hokudai』を再編集したしおり・カレンダー・クリアファイル
- ・VRコンテンツ「記憶の部屋」のテキスト




ソーシャルデザイン実習

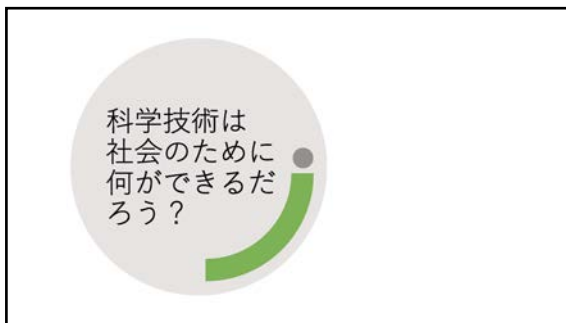
担当 | 奥本美子・西尾由樹

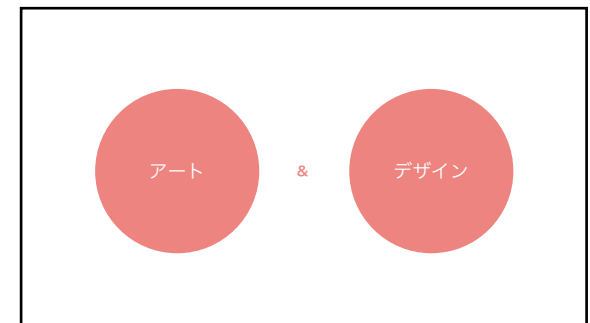
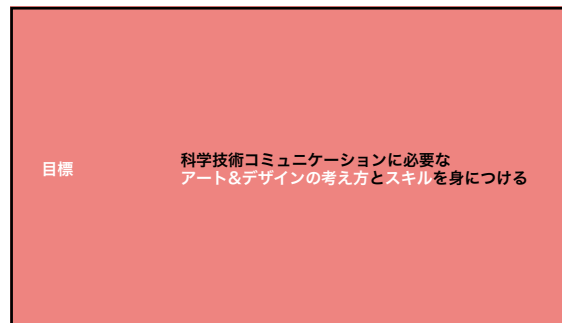
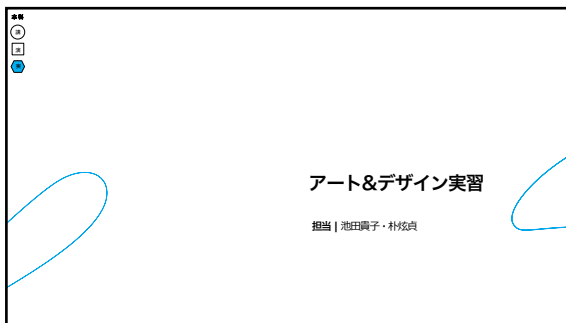



Welcome !

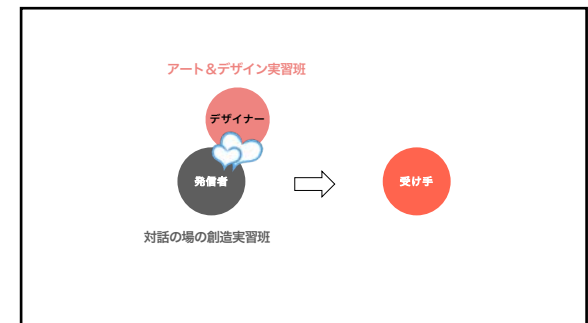
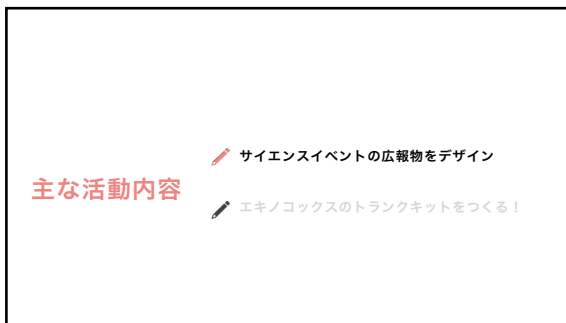
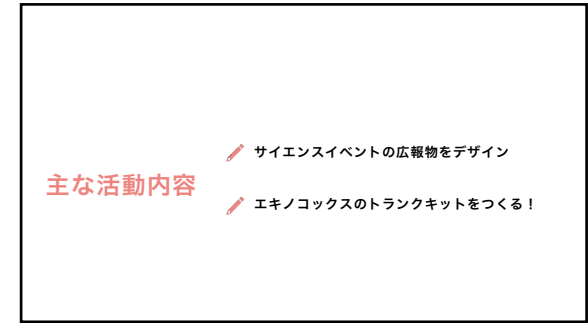
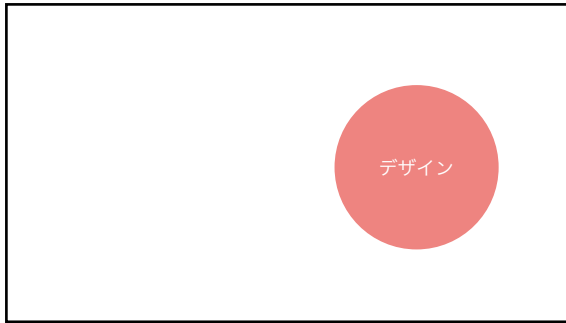
ソーシャルデザイン実習へ













1. イベントのコンセプトを理解
2. グストの層別について勉強
3. モチーフの吟味
4. トーンの吟味
5. レイアウトの吟味
6. 視認性の吟味

対話

↻

A&D



主な活動内容

- ✍ サイエンスイベントの広報物をデザイン
- ✂ エキノコックスのトランクキットをつくる!



トランクキット
専門家がいなくても学べる
教材を詰めたトランク。

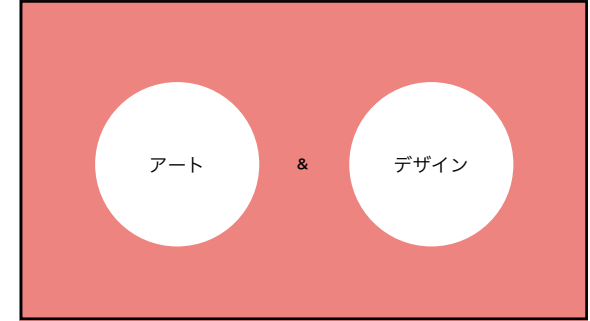



「何を」「誰に」、
伝えたいかによって、
ふさわしい表現法は異なる。



こんな人
向いています

チラシやロゴマークをつくってみたい
アートについて学んでみたい
作品制作を手伝いたい
トランクキットやインフォグラフィクスに興味がある
自分の研究や活動をもっと効果的に魅せたい



演習の紹介

種別	概要	授業数	授業として	授業形態	
講義	カリキュラム体系に沿った6つのモジュール	27回	授業として 1 講義 13:00-14:30 (集中) 2 実習 14:30-15:30 (集中) 3 実習 15:30-17:00 (集中)		
本科 演習	別科の場の技法実習 ライブデッサン・輪廓実習 ソニッケンデジタルデザイン実習 アートデジタルデザイン実習	26回	授業として 1 実習 10:00-12:00 2 実習 12:00-14:00 (集中) 3 実習 14:00-16:00 (集中) 4 実習 16:00-18:00 (集中) 5 実習 18:00-20:00 (集中) 6 実習 20:00-22:00 (集中) 7 実習 22:00-24:00 (集中) 8 実習 24:00-26:00 (集中) 9 実習 26:00-28:00 (集中) 10 実習 28:00-30:00 (集中) 11 実習 30:00-32:00 (集中) 12 実習 32:00-34:00 (集中) 13 実習 34:00-36:00 (集中) 14 実習 36:00-38:00 (集中) 15 実習 38:00-40:00 (集中) 16 実習 40:00-42:00 (集中) 17 実習 42:00-44:00 (集中) 18 実習 44:00-46:00 (集中) 19 実習 46:00-48:00 (集中) 20 実習 48:00-50:00 (集中) 21 実習 50:00-52:00 (集中) 22 実習 52:00-54:00 (集中) 23 実習 54:00-56:00 (集中) 24 実習 56:00-58:00 (集中) 25 実習 58:00-60:00 (集中) 26 実習 60:00-62:00 (集中) 27 実習 62:00-64:00 (集中) 28 実習 64:00-66:00 (集中) 29 実習 66:00-68:00 (集中) 30 実習 68:00-70:00 (集中) 31 実習 70:00-72:00 (集中) 32 実習 72:00-74:00 (集中) 33 実習 74:00-76:00 (集中) 34 実習 76:00-78:00 (集中) 35 実習 78:00-80:00 (集中) 36 実習 80:00-82:00 (集中) 37 実習 82:00-84:00 (集中) 38 実習 84:00-86:00 (集中) 39 実習 86:00-88:00 (集中) 40 実習 88:00-90:00 (集中) 41 実習 90:00-92:00 (集中) 42 実習 92:00-94:00 (集中) 43 実習 94:00-96:00 (集中) 44 実習 96:00-98:00 (集中) 45 実習 98:00-100:00 (集中)	実習として 1 実習 10:00-12:00 2 実習 12:00-14:00 (集中) 3 実習 14:00-16:00 (集中) 4 実習 16:00-18:00 (集中) 5 実習 18:00-20:00 (集中) 6 実習 20:00-22:00 (集中) 7 実習 22:00-24:00 (集中) 8 実習 24:00-26:00 (集中) 9 実習 26:00-28:00 (集中) 10 実習 28:00-30:00 (集中) 11 実習 30:00-32:00 (集中) 12 実習 32:00-34:00 (集中) 13 実習 34:00-36:00 (集中) 14 実習 36:00-38:00 (集中) 15 実習 38:00-40:00 (集中) 16 実習 40:00-42:00 (集中) 17 実習 42:00-44:00 (集中) 18 実習 44:00-46:00 (集中) 19 実習 46:00-48:00 (集中) 20 実習 48:00-50:00 (集中) 21 実習 50:00-52:00 (集中) 22 実習 52:00-54:00 (集中) 23 実習 54:00-56:00 (集中) 24 実習 56:00-58:00 (集中) 25 実習 58:00-60:00 (集中) 26 実習 60:00-62:00 (集中) 27 実習 62:00-64:00 (集中) 28 実習 64:00-66:00 (集中) 29 実習 66:00-68:00 (集中) 30 実習 68:00-70:00 (集中) 31 実習 70:00-72:00 (集中) 32 実習 72:00-74:00 (集中) 33 実習 74:00-76:00 (集中) 34 実習 76:00-78:00 (集中) 35 実習 78:00-80:00 (集中) 36 実習 80:00-82:00 (集中) 37 実習 82:00-84:00 (集中) 38 実習 84:00-86:00 (集中) 39 実習 86:00-88:00 (集中) 40 実習 88:00-90:00 (集中) 41 実習 90:00-92:00 (集中) 42 実習 92:00-94:00 (集中) 43 実習 94:00-96:00 (集中) 44 実習 96:00-98:00 (集中) 45 実習 98:00-100:00 (集中)	実習として 1 実習 10:00-12:00 2 実習 12:00-14:00 (集中) 3 実習 14:00-16:00 (集中) 4 実習 16:00-18:00 (集中) 5 実習 18:00-20:00 (集中) 6 実習 20:00-22:00 (集中) 7 実習 22:00-24:00 (集中) 8 実習 24:00-26:00 (集中) 9 実習 26:00-28:00 (集中) 10 実習 28:00-30:00 (集中) 11 実習 30:00-32:00 (集中) 12 実習 32:00-34:00 (集中) 13 実習 34:00-36:00 (集中) 14 実習 36:00-38:00 (集中) 15 実習 38:00-40:00 (集中) 16 実習 40:00-42:00 (集中) 17 実習 42:00-44:00 (集中) 18 実習 44:00-46:00 (集中) 19 実習 46:00-48:00 (集中) 20 実習 48:00-50:00 (集中) 21 実習 50:00-52:00 (集中) 22 実習 52:00-54:00 (集中) 23 実習 54:00-56:00 (集中) 24 実習 56:00-58:00 (集中) 25 実習 58:00-60:00 (集中) 26 実習 60:00-62:00 (集中) 27 実習 62:00-64:00 (集中) 28 実習 64:00-66:00 (集中) 29 実習 66:00-68:00 (集中) 30 実習 68:00-70:00 (集中) 31 実習 70:00-72:00 (集中) 32 実習 72:00-74:00 (集中) 33 実習 74:00-76:00 (集中) 34 実習 76:00-78:00 (集中) 35 実習 78:00-80:00 (集中) 36 実習 80:00-82:00 (集中) 37 実習 82:00-84:00 (集中) 38 実習 84:00-86:00 (集中) 39 実習 86:00-88:00 (集中) 40 実習 88:00-90:00 (集中) 41 実習 90:00-92:00 (集中) 42 実習 92:00-94:00 (集中) 43 実習 94:00-96:00 (集中) 44 実習 96:00-98:00 (集中) 45 実習 98:00-100:00 (集中)

*スケジュールは原則

選科

目的
科学技術コミュニケーションの
基本的な考え方とスキルを学ぶ。

募集人員
30～50名

講義 → 集中演習

**科目構成
選科**

種別	科目	授業数	授業形態
講義	カリキュラム体系に沿った6つのモジュール	27回	原則土曜日(8:00～14:30) 実習、もしくは自己学習で
集中演習	演習1 サイエンスイベント企画実習	3日間	夏期集中：8/28(金)～30(日) (8時)
	演習2 サイエンスライティング	3日間	秋期集中：10/9(金)～11(日) (8時)
実習・ 共同実習	ファシリテーション実習		
	プロジェクト作成実習		
	発表表現実習 Ⅰ 発表表現実習 Ⅱ		

*1は人数制限がある科目

講義
必修科目
土曜日 13:00-14:30
もしも日
水曜日 16:30-20:00

モジュール名	開講日	回数
1 科学技術コミュニケーションの基礎	4/17, 5/23, 5/30, 6/17, 6/27	5
2 職業とコミュニケーションの学際	7/4, 7/8, 7/11, 7/18, 8/1	5
3 知識のためのデザイン	9/12, 9/16, 9/26, 10/3, e-learning	5
4 トランスサイエンス	9/23, 10/24, 11/7, e-learning	4
5 多様な立場の理解	11/28, 12/16, e-learning	3
6 社会における学際	12/12, 1/9, 1/23, 1/30, 2/2	5
		合計 27

※講義開講日は講師の都合により、変更の可能性があります。
※講義科目シラバスはウェブサイトで（発行公開）参照。



選択必修科目

選科演習A
サイエンスイベント
企画運営

担当：種村剛+他

概要

◆8/28(金)～8/30(日)の3日間、札幌で実施する短期集中型の演習（スクーリング）。

◆4～5名のメンバーによるグループワークを中心に、ミニレクチャーなどはさみ、3日間でグループ毎にサイエンスイベントの企画、準備、実施、評価を行います。

学習目標

- ◆サイエンス・カフェや各種のワークショップなど、参加・体験型イベントの企画者・進行役に求められる**企画、プログラムデザイン、ファシリテーションなどのスキル**を、3日間かけて集中的に身につけます。
- ◆多様なバックグラウンドを持つメンバーが発想と実践のための素材を持ち寄り、コラボレーションを通して互いの**問題意識の違いや共通性を見出しながら活動をデザイン**していくことの醍醐味や可能性、課題を体得します。

具体的な内容

項目	内容
事前交流	ウェブ上での自己紹介と意見交換
アイスブレイク	3日間の協同学習に取り組む姿勢をつくる
ミニレクチャー	企画の立て方、プログラムデザインなど
グループワーク	チームビルディング、アイデア出し、構想、編集、シナリオ制作、役割分担
プロトタイプング	実施のための準備、リハーサル
サイエンスイベント	実際に他の受講生などの前で実施
リフレクション	学んだ成果を振り返り、評価し、持ち帰る





選科A 年間のスケジュール A

- ◆ **講義** 2020年5月～2021年2月
 - e-learningで受講
 - 科学技術コミュニケーションとはなにかを理解
 - 選択演習・実習を受講
- ◆ **集中演習** 2020年8月28日(金)～30日(日)
- ◆ **成果発表会** 2021年3月13日(土)
 - ポスターおよびステージでの発表

選択必修科目

選科演習B
サイエンスライティング

Bへ

担当：川本忍心+他

目的

1. 文章執筆の基本を身につける
 - ・「分かりやすい文章」とは何か
 - ・それを書くために何が必要か など
2. サイエンスライティングの基本を身につける
 - ・専門的な情報をどうあつかうか

↓

得たことを足がかりに、さらに学びをふかめ、
研究や仕事などで活用するきっかけに

概要

- ◆ミニレクチャーで学ぶ**基礎知識**
企画（切り口）、文章のピント、説明、引用 など
- ◆ワークで学ぶ**基礎スキル**
インタビューの方法、描写・文章の構成、図解 など

↓

限られた時間でアウトプット
3日間で1,600字程度の読み物を完成（予定）



指導体制

- ◆サイエンスライティングのプロによる指導
ミニレクチャー（内村直之 CoSTEP客員教授・他）
- ◆グループでの個別指導
CoSTEP教員1人あたり受講生4~6名（予定）
- ◆多様な受講生同士によるピアレビュー
受講生も互いにコメントし合う





選科B 年間のスケジュール

- ◆ **講義**：2020年5月～2021年2月
e-learningで受講
 - ・ 科学技術コミュニケーションとはなにかを理解
 - ・ 7月11日はライティングに関する講義（内刊版のCoSTEP客員教授）
 - ・ モジュール課題はライティングの練習として取り扱います！
- ◆ **集中演習**：2020年10月9日(金)～11日(日)
9月中旬 事前課題提出
1日目： アイスブレイク、ミニレクチャーおよび事前課題へのコメント
2日目： ミニレクチャー・執筆
3日目： 執筆・完成
- ◆ **成果発表会**：2021年3月13日(土)
ポスターおよび口頭で発表

科目構成 選科

科目	概要	授業数	授業時間
講義	カリキュラム体系に沿った6つのモジュール	27回	原則土曜日13:00～14:30 *教室、もしくは後援E-learningで
集中演習	演習期間A サイエンスイベント企画授業	3日間	夏期集中：8/29(金)～30(日) (8時)
	演習期間B サイエンスライティング	3日間	秋期集中：10/9(金)～11(日) (8時)
論文・共同発表	フアンリテーション演習 プロジェクト作成演習 発表表現実習 T 最終発表実習 T		*授業での集中中に発表できる機会もある *付人数情報がある科目

講義 e-learning / サポート体制

受講生専用サイト

受講生専用サイト


e-learningでの受講

- いつ見られるか**
 - 原則として講義日以降～2020年度末。
- どのようにして見るか**
 - 受講生専用サイトの講義e-learning一覧からアクセス。
 - URLをコピーしたり、ブックマークに登録しても視聴できません。
 - iOSやAndroid等からも視聴可。
- 配布資料**
 - 「講義e-learning一覧」のページからダウンロード可。
 - ただし、著作権の関係で全てがアップできるわけではありません。
- 過去の講義アーカイブ**
 - 過年度の講義も視聴可。
 - ただし、モバイルやタブレット視聴に対応していない動画もあります。

facebook 交流ページ



受講に際しての注意事項




受講料 (1年間)

本科		選科	
開講	演習	開講	演習
一般	48,000円	一般	23,000円
北大生	20,000円	北大生	10,000円

開講特別プログラム

5/16 土

- 開講式特別開講***
12:00-13:00 映画「SHARU」上映
13:30-15:00 「地つぎの果てへ」 石川 直樹 氏 (司会)
- ガイダンス***
15:30-16:00
- ウェルカムパーティー**
16:30-18:30



5/17 日

- 開講* モジュール1-1**
10:00-11:30
「科学技術コミュニケーションとは何か」 川本 忍心
- オープニングWS**
13:00-16:30

*全国から仲間が集まる初めての機会ですので、必修ではありませんが参加を推奨します。
後日e-learningで配信。

CoSTEPの魅力

- 熱意ある修了生のネットワーク
- 社会での豊富な実践の機会
- e-learningによる講義配信
- 大学の枠を超えた多彩な講師陣
- 15年間の実績に基づく体系的カリキュラム
- 学生と社会人対象の約1年間のプログラム

☎

- 公式ウェブサイトへアクセス
<http://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/>
または「CoSTEP」で検索
- ウェブ上で所定のフォームに必要事項を入力して送信

応募の手順 締め切り **4月20日（月）正午**

- > 本科書類選考結果の発表 **4月23日（木）18:00**
- > 合格発表 **4月30日（木）18:00**

